



## SYNESIS バージョン 7.0 リリースノート

2022-07-25

Version 7.0.6

### リリースパッケージ

本バージョンのリリースパッケージは、下記の製品に適用可能です。

- バージョン 7.0.1～7.0.5 の SYNESIS
- 新規出荷品の SYNESIS

### 対応モデル

前バージョンと同じです

### 修正した不具合

- 1) ユーザガイド 16.3.1 章の手順に従い PTP 時刻同期を設定する際、手順 7. の TimeSyncOsTimeReference パラメータが正しく設定されない不具合を修正しました。 [#22724]
  - 本不具合はバージョン 6.5.1 以降の SYNESIS で発生します。

2022-05-13

Version 7.0.5

### リリースパッケージ

本バージョンのリリースパッケージは、下記の製品に適用可能です。

- バージョン 7.0 の新規出荷品
- バージョン 6.5 および 6.0 からのバージョンアップ

### 対応モデル

本リリース時点で各モデルの対応状況は以下のとおりです。

- 動作確認済のモデル

Capture Module	Control Unit Portable	Control Unit Distributed	External Storage
SYxC-1G4N1-HP/LE, SYxC-10G2N1-HP/LE, SYxC-10G4N1-HP, SYxC-25G4N1-HP, SYxC-100G1N2-HP, SYxC-100G2N2-HP	SYxB-2GP1/2/3, SYxB-4GP1/2, SYxB-10GP1/2/3, SYxB-20GP1/2/ SYxB-40GP1/2, SYxB-50GP1, SYxB-100GP1/2/3,	SYxB-2GR1-C, SYxB-8GR1-C, SYxB-10GR1/2, SYxB-20GR1/2, SYxB-20GR1-CP	SYxE-8GR1-C, SYxE-20GR1/2

	SYxB-100GP1-7300MAX SYxB-200GP1		
--	------------------------------------	--	--

● 動作未確認のモデル

Capture Module	Control Unit Portable	Control Unit Distributed	External Storage
SYxC-40G2N1-HP	SyxB-20GP1-R10 SYxB-80GP1, SYxB-200GP2	-	-

Version 7.0.4 からの変更点

---

- 1) Distributed の Control Unit に新モデルを追加しました。
- 2) V7.0.3~V7.0.4 のシステムリカバリ用イメージに関し、MBR (Master Boot Record) の開始・終了位置が V7.0.2 以前と異なっていた点を修正しました。
- 3) V6.0 からのバージョンアップに関し、モデル名の指定誤りを防ぐよう手順を見直しました。

## 2022-04-11                      Version 7.0.4

---

### リリースパッケージ、対象モデル

---

前バージョンと同じです。

### 脆弱性対策

---

- [CVE-2022-22965] Spring Framework が提示するワークアラウンドの 1 つである "Disallowed Fields" を適用しました。
  - 参考 URL: <https://spring.io/blog/2022/03/31/spring-framework-rce-early-announcement#disallowed-fields>

### 修正した不具合

---

- インストーラの実行後に Management Console のパスワードが初期状態に戻る不具合を修正しました。 [#21815]
  - 本不具合は V6.5.2, V6.5.4, V7.0.2, V7.0.3 のインストーラ実行時に発生します。
  - すでに上記バージョンのインストールを実行済で、パスワードが初期状態に戻ってしまった場合は、管理者マニュアル 5.2.2.1 章の手順に従いパスワードの再設定をお願いします。
  - V6.5→V7.0.2 のバージョンアップ実行時は、設定ファイルをバックアップ・リストアしているため発生しません。
- RESTful API 2.0 で、トレースファイルの URL を指定したダウンロードが、パーミッションエラーにより失敗する不具合を修正しました。 [#21630]
  - 本不具合は V6.5.1 以降で発生します。

## 2022-03-28

## Version 7.0.3

### リリースパッケージおよび対応モデル

Version 7.0.2 と同じです

### Version 7.0.2 からの変更点

- 1) 管理ポートの Bonding を active/backup モードに限りサポートします。 [#20655]
  - 詳細は別紙『管理者マニュアル』4.1.4 章を参照ください。
  - マニュアルへの記載は本バージョンからですが、サポートは Version 7.0.1 以降の SYNESIS で可能です。
- 2) SNMP トラップの通知メッセージの末尾に 0x00 が付加されていた不具合を修正しました。これにより一部の SNMP マネージャ、または Wireshark で、メッセージが正しく ASCII 文字列に変換されませんでした。 [#21339]
  - GUI で設定する SNMP トラップが本不具合の対象です。キャプチャまたは FeedService のチェッカーでは本不具合は発生していませんでした。
- 3) 設定のバックアップ・リストアにおいて、V7.0 以降で作成したバックアップデータをアップロードした場合に、その名前に含まれるマルチバイト文字が文字化けする不具合を修正しました。 [#21537]
  - 本不具合は V7.0.1~V7.0.2 で発生します。
- 4) ユーザガイド 14.1.1 章で、アラート検出条件として複数の KPI にチェックを入れた場合のロジックに誤りがあり、記載を修正しました。
  - 誤：複数のチェックを入れた場合は、OR 条件で判定されます。
  - 正：複数の KPI にチェックを入れた場合は、危険・警告・情報のレベル毎に AND 条件で判定されます。

## 2022-02-03

## Version 7.0.2

### リリースパッケージ

本バージョンのリリースパッケージは、下記の製品に適用可能です。

- バージョン 7.0 の新規出荷品
- バージョン 6.5 および 6.0 からのバージョンアップ

### 対応モデル

本リリース時点で各モデルの対応状況は以下のとおりです。

- 動作確認済のモデル

Capture Module	Control Unit Portable	Control Unit Distributed	External Storage
SYxC-1G4N1-HP/LE, SYxC-10G2N1-HP/LE, SYxC-10G4N1-HP, SYxC-25G4N1-HP, SYxC-100G1N2-HP, SYxC-100G2N2-HP	SYxB-2GP1/2/3, SYxB-4GP1/2, SYxB-10GP1/2/3, SYxB-20GP1/2/ SYxB-40GP1/2, SYxB-50GP1, SYxB-100GP1/2/3,	SYxB-2GR1-C, SYxB-8GR1-C, SYxB-10GR1/2, SYxB-20GR1/2,	SYxE-8GR1-C, SYxE-20GR1/2

	SYxB-100GP1-7300MAX SYxB-200GP1		
--	------------------------------------	--	--

● **動作未確認のモデル**

Capture Module	Control Unit Portable	Control Unit Distributed	External Storage
SYxC-40G2N1-HP	SyxB-20GP1-R10 SYxB-80GP1, SYxB-200GP2	-	-

## Version 7.0.1 からの変更点

- バージョン 6.0 からのバージョンアップにつき、パッケージおよび手順の公開を開始します。バージョンアップすることで、OS が 16.04 から 20.04 にアップグレードされます。 [#20238]
- SYxB-200GP1 モデルに対応しました。
- バージョンアップ手順に従ったリカバリ中に、ライセンスがないため処理が停止する問題を解消しました。

## 2022-01-11                      Version 7.0.1

### 対応モデル

本リリース時点で各モデルの対応状況は以下のとおりです。

● **動作確認済のモデル**

Capture Module	Control Unit Portable	Control Unit Distributed	External Storage
SYxC-1G4N1-HP/LE, SYxC-10G2N1-HP/LE, SYxC-10G4N1-HP, SYxC-25G4N1-HP, SYxC-100G1N2-HP, SYxC-100G2N2-HP	SYxB-2GP1/2/3, SYxB-4GP1/2, SYxB-10GP1/2/3, SYxB-20GP1/2/ SYxB-40GP1/2, SYxB-50GP1, SYxB-100GP1/2/3, SYxB-100GP1-7300MAX	SYxB-2GR1-C, SYxB-8GR1-C, SYxB-10GR1/2, SYxB-20GR1/2,	SYxE-8GR1-C, SYxE-20GR1/2

● **動作未確認のモデル**

Capture Module	Control Unit Portable	Control Unit Distributed	External Storage
SYxC-40G2N1-HP	SyxB-20GP1-R10 SYxB-80GP1, SYxB-200GP1/2	-	-

### 新機能

以下の機能を追加しました。

- パケットストアから直接パケットを読み出す FeedService 機能を追加しました。 [#18491]
  - ◇ 使用方法の詳細、および各モデルの性能上限は、別紙『FeedService 取扱説明書』を参照ください。
- 指定した時刻にキャプチャを開始・停止するキャプチャトリガ機能を追加しました。 [#10926]
  - ◇ 詳細は『ユーザガイド』 4.4.4 章を参照ください。

- 3) チャネル間でパケットの送信タイミングを同期できる CLI 版の PacketReplayer Sync を、全モデルで使用可能にしました。ただし LE モデルの Capture Module は除きます。 [#20531]
  - ◇ 別途パケットリプレイヤーオプションの購入が必要です。
  - ◇ 使用方法の詳細は、別紙『SYNESIS パケットリプレイヤー取扱説明書』4 章を参照ください。

## 変更点

---

以下の点はバージョン 6.5 から仕様を変更されています。

- 1) 設定のバックアップ・リストア機能では、同一バージョンかつ同一モデルのバックアップデータのみリストア可能でしたが、この制限を緩和しました。 [#7137, #12724]
  - ◇ バージョン 6.0 以降の SYNESIS で作成したバックアップデータがリストア可能になりました。
  - ◇ どのモデルのバックアップデータでもリストア可能になりました。
- 2) synesis\_tools 配下のチェッカーにつき、今後のパッチ適用・バージョンアップの際に設定が失われないよう、設定を別ファイルに記載するようにしました。 [#20598]
  - ◇ 設定方法の詳細は別紙『キャプチャチェッカーツールマニュアル』、『FeedService チェッカーツールマニュアル』を参照ください。
- 3) 画面右上にあるパケットリプレイヤーのリプレイ開始・停止ボタンに関し、パケットリプレイヤー画面でプロファイルをクリックすると、直に対象のプロファイルが切り替わるようにしました。 [#20370]
- 4) Tomcat プロセスが再起動したことをログに出力するようにしました。 [#19736]
- 5) キャプチャ開始時に、キャプチャオプションに設定されている内容をログに出力するようにしました。 [#19264]
- 6) PostgreSQL が安定稼働するよう、設定を見直しました。また PostgreSQL のログを GetLogs 機能で収集できるようにしました。 [#6333, #6334, #10267]

## 修正した不具合

---

以下に挙げた不具合を修正しました。

- 1) パッチの適用等により、VPEyes または NetKeeper プロセスを再起動した際、低確率で NetKeeper が 2 重に起動する不具合がありました。この状態でキャプチャを行うと、キャプチャしたパケットが正しく保存できない、あるいはキャプチャした統計値が正しくデータベースに記録できないといった現象が発生しました。 [#20580]
  - ◇ 本不具合は 6.5.2 以前の全バージョンで、間欠的に発生していました。
- 2) キャプチャレコードが概ね 20 個以上あるときに、GUI のエージェント画面への遷移時が遅くなっていました。また CPU 使用率が一時的に向上するため、パケットドロップを引き起こす可能性がありました。 [#20457]
  - ◇ 本不具合はバージョン 6.0.1 から 6.5.2 で発生していました。
- 3) パケットリプレイヤーにおいて、ストリームとして「元のスピード」を指定し、かつリプレイデータに 1 秒以上のデルタタイムがあるようなデータをリプレイすると、デルタタイムが 1 ミリ秒に短縮されてリプレイされていました。 [#20705]
  - ◇ 本不具合はバージョン 4.0 から 6.5.2 で発生していました。
- 4) 自動保存のオートローテーションを有効にし、設定を「サイズ」としてキャプチャを実行した場合に、保存済のトレースファイルが正しくないタイミングで削除されていました。具体的には毎時 00 分を超えると、その前の 1 時間に保存したトレースファイルがフォルタごと削除されました。 [#20672]
  - ◇ 本不具合はバージョン 3.5 から 6.5.2 で発生していました。

- 5) SYNESIS 出荷時の初期状態で NTP が有効になっていました。そのため SYNESIS から x.ubuntu.pool.ntp.org 宛の packets が送られる可能性がありました。 [#20585]
  - ◇ 本不具合はバージョン 6.5 で製造された下記 S/N の SYNESIS で発生していました。
    - 2J0000190-00, 2J0000191-00, 2J0000192-00
- 6) HangUpChecker において、SYNESIS がコアダンプを生成する際に NetKeeper プロセスが正常に終了しない潜在的な不具合がありました。 [#20748]
  - ◇ 本不具合はバージョン 2.5 以降の HangUpChecker で、間欠的に発生していました。

#### 本バージョンで追加された既知の不具合および制限事項

---

- 1) Control Unit が SYxB-100GP1-7300MAX の SYNESIS では、パケットリプレイヤーにおいてキャプチャレコードのリプレイができません。実行すると NetKeeper プロセスが再起動します。 [#20500]